

## 新型コロナウイルス感染症への対応について(第4次)

### +主の平和

4月7日、首相官邸より「新型コロナウイルス感染症については、肺炎等の重篤な症例の発症頻度が相当程度高く、国民の生命及び健康に著しく重大な被害を与えるおそれがあり、かつ感染経路が特定できない症例が多数に上り、かつ急速な増加が確認されており、医療提供体制もひっ迫してきているとされました」とし、緊急事態宣言が発出されました。

期間は4月7日から5月6日までの1か月間とし、実施すべき区域は7都府県とされました。その後、危機感を強めた自治体では独自の動きが加速し、独自の緊急事態宣言が相次いで出されています。これまでの「密集、密閉、密接の回避や不要不急の外出自粛」を要請するに加えて、「出勤が必要な場合も、ローテーションを組むことなどによって、出勤者の数を最低7～8割は減らす」ことも指摘されています。このように集団感染(クラスター)を徹底的に潰すことによってのみ感染爆発(パンデミック)を回避する方法がないというのが現実です。

教会も例外ではありません。聖堂は「三つの密」を完全に回避することは出来ません。また、信徒の方々は50歳以上の方々の割合が高く、集団感染(クラスター)が発生したときに重篤な症状に至る危険があるため、集会を持つことには慎重にならなくてはなりません。

重ねて、聖堂以外すなわち教会に来る道中において感染してしまうことも考えられます。静岡市のカトリック校舎は登校中止という判断をし感染拡大を防ぐ努力をしています。同様に「ミサがないけど聖堂で祈りたい」という思いをお持ちになる信徒の方々にもどうか「外出はなるべく控えて自宅にて祈る」というご判断をお願いいたします。

5月は聖母月とされており、わたしたちの守護である聖母マリア様が祈り続けてくださっているように、わたしたちも心を合わせて新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方々、今重篤な状態で苦しんでいる方々、そして緊急事態において信仰生活の不自由さを耐え忍んでいるわたしたち信者の上に神の救いがありますようにお祈りくださいますようお願いいたします。

祈りのうちに。

静岡地区共同宣教司牧推進担当司祭 和野信彦

### 【公開ミサの中止期間延長について】

- ・5月31日(日)までの静岡地区教会での公開のミサを中止いたします。
- ・主任司祭はそれぞれが担当小教区のため、主日のミサを非公開にて行います。
- ・5月31日聖霊降臨の主日に洗礼式が予定されておりましたが、感染の収束状態を鑑みて各小教区において洗礼式の時期を検討してください。